

避難訓練・集団下校指導実施計画

地震時（休み時間）における避難訓練

1 ねらい

- ①休み時間に大きな地震が起きた場合の自分の身の守り方を理解させる。
- ②登下校中に大きな地震が起きた場合の自分の身の守り方を理解させる。

<文科省「学校防災マニュアル作成の手引き」より>

「揺れたら」（初期対応）の訓練

地震発生時の基本行動は、どこにいても、どのような状況でも「上から物が落ちてこない」「横から物が倒れてこない」「ものが移動してこない」場所に素早く身を寄せて安全を確保することである。教師の指示を待たずに児童が自ら判断し行動できるように繰り返し訓練することが大切である。

2 期日

- 事前指導 18日（金）各学級で（学活1）※サイレンの確認もします。
- 避難訓練・集団下校指導

11月19日（月） 昼休み（13：20ごろ）～ 5校時（行事1）

3 事前指導について（各学級で指導）

- (1) 地震はいつ起こるか分からない、今回は休み時間中や登下校中に大きな地震が起きる想定での訓練であることを知らせる。
- (2) 休み時間中に大きな地震が起きたときには…

<教室にいるとき>

- ①近くの机やいすにもぐり頭部を保護する。
- ②先生の指示に従い、校庭（体育館）に避難する。 「お・は・し」

<廊下や階段，特別教室，トイレにいるとき>

- ①周りを見渡し、物が 「落ちてこない」「倒れてこない」「動いてこない」 場所にすばやく身を寄せる。
- ②姿勢を低くして揺れがおさまるのを待つ。帽子や上着などで頭部を保護する。
- ③揺れがおさまったら、近くの教室に入るか、近くの先生の指示を受けること。
- ④先生の指示に従い、校庭（体育館）に避難する。 「お・は・し」

<校庭，昇降口にいるとき>

- ①周りを見渡し、物が 「落ちてこない」「倒れてこない」「動いてこない」 場所にすばやく身を寄せる。建物や遊具からは離れる。
- ②姿勢を低くして揺れがおさまるのを待つ。
- ③揺れがおさまったら校庭の中央付近に集まり腰をおろして指示を待つ。

<登校中>

- ①周りを見渡し、物が 「落ちてこない」「倒れてこない」「動いてこない」 場所にすばやく身を寄せる。ランドセル等で頭部を保護する。
- ②車に十分注意し（信号機が消えているかもしれない）、近くの児童と一緒に学校へ向かう。

③近くの避難場所（将監公園や将監中学校）へ避難してもよい。そのまま西小学校の先生が来るのを待つ。

④学校に着いたら校庭，または指示された場所で待つ。

<下校中>

①周りを見渡し，物が「落ちてこない」「倒れてこない」「動いてこない」場所にすばやく身を寄せる。ランドセル等で頭部を保護する。

②車に十分注意し（信号機が消えているかもしれない），近くの児童と一緒に学校か自宅（児童館）の近い方に向かう。ただし，家に誰もいない場合には自宅に帰らない。

③近くの避難場所（将監公園や将監中学校）へ避難してもよい。そのまま西小学校の先生が来るのを待つ。

④学校に着いたら校庭，または指示された場所で待つ。

4 避難訓練 当日の流れ

	<教師>	<児童>
13:17ころ	<ul style="list-style-type: none"> 担当の配置につく <ul style="list-style-type: none"> 1F廊下昇降口付近（ ） 2F廊下階段付近（ ） 校庭（ ）校庭西側（ ） 特別教室棟（ ） 各教室（各担任） 	<ul style="list-style-type: none"> 通常の昼休み（予告はしない）
13:20	サイレン・放送 → 「大きな地震が発生しています」	
13:22ころ	<ul style="list-style-type: none"> 児童の行動の様子を見る 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの場所で身を守る行動
13:22ころ	放送「揺れがおさまりました」	
13:25ころ	<ul style="list-style-type: none"> 分散して児童の安全確保と指示誘導 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の指示を聞く
13:25ころ	ハンドマイクで「余震の恐れがあります。校庭へ避難しなさい」	
13:30ころ	<ul style="list-style-type: none"> 各教室や近隣の児童を誘導し避難開始 検索開始（避難誘導後） <ul style="list-style-type: none"> 1F体育館（ ・ ） 2F・校庭西側（ ・ ） 特別教室棟（ ・ ） 非常持ち出し <ul style="list-style-type: none"> 持ち出し袋・ハンドマイク（教頭・技師） 救急箱（養護） 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の誘導で避難開始（防災頭巾や帽子があれば頭部を保護して，上履きのまま避難）
13:30ころ	校庭に学級ごと整列完了 → 人員確認・安否確認・報告	
	<全体指導> <ol style="list-style-type: none"> 1 講評（校長先生） 2 注意事項等（ ） 	
13:45	各教室に戻り，事後指導，帰りの用意	
14:00	集団下校グループごとに各教室に集合	

5 集団下校指導の流れ

14:00 放送の合図で、集団下校グループごとに各教室に移動
(帰りの用意をして)

①名簿で児童の確認

②地区担当の先生からの話を聞く。

・マップを配布する。

・地区内の危険箇所や子ども 110 番の家を確認する。

※児童館グループは登校時, 下校時両方の指導をする。

・集団下校時にみんなで確認するところを伝える。

③集団下校開始

○集団下校をしながら、登下校中大きな地震が来たら…

雷が鳴ったら…

台風のとき…

等の想定で危険な場所や安全な場所を確認する。

○高学年は、リーダーとして行動するように事前に指導をしておく。災害時にも下学年を守ってほしいと伝えておく。

○家まで遠回りになっても、終了するまで全員で確認する。

○主に確認することとして

- ・落ちてきそうなもの（看板、電柱のトランス 等）
- ・倒れてきそうなもの（ブロック塀、自動販売機、街灯、古い建物 等）
- ・動いてきそうなもの（自動販売機、看板 等）
- ・信号機が消えた場合どうするか
- ・避難場所（将監公園や将監中）
- ・子ども 110 番の家
- ・立ち入り禁止箇所

※事前に地区担当の方で確認する場所を把握しておく。

○確認後、十分に気をつけて下校させる。